## 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制 (8月報告)

(□には、適合する場合「✓」を記入すること)

備考 ※ 第	へ、 算定開始後、当該加算を辞退したな	∓月などがあれば	ば具体的に 請	) 記載すること。							
9				5 – =0							
院勤	) 務医の勤務時間及び当直を含めた。	 た夜間の勤務状?	 況の把握								
(令利	06年8月1日時点)										
ア ほ	医療機関に勤務する医師数	常勤:	(	)名	非常勤:	(	)名				
		宿日直(*	1)を担当す	る医師(	)名(うち非常	常勤(	)名)				
			*1宿日	直については、平日	の平均的な1日にお	ける体制を記	記載すること)				
イ 痘	病院勤務医の勤務状況の把握等(う			/ 4 1 10 104	ı` .%.ı=\ @.#	mn+88					
	(ア) 勤務時間の具体的な把握	力法		ムカード、ICカー )他、客観的な記録	-	用時间					
			(具体		ツネノコ /ム		)				
	(イ) 勤務時間以外についての動			<b>-</b> 3			,				
	□ 年次有給休暇取得率	<b>赵</b>		□ 時短勤務実施	<b>逝者(*3)数</b>						
	□ 育児休業·介護休業	の取得率		□ その他							
				(具体的に:			)				
	*2 前年度の実績		h 3女/+ サル	1.7.4							
	*3 所定労働時間3 (ウ) 超過勤務時間(時間/月)	をあらかじめ減じた勤 (*4)	川労仲削として	いる自							
	平均: (	) 時間/月		80時間/月以上の	の者の人数:	(	)名				
	最大: (	)時間/月		155時間/月以上		(	)名				
	最小: (	)時間/月									
	* 4 常勤医における				- W KI						
		*4 超過勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労働した時間数及び法定休日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和									
	(工)宿日直(回/月)	平均:	(	)回/月							
	(土)相口臣(四/月)	十均. 最大:	(	)回/月							
		最小:	(	)回/月							
		連日当直を	実施した者	の人数及び回数	: (	名•のべ(	) 🗇				
	(オ) その他(自由記載・補足等	)									
ウ 彳	<u> </u> 令和5年度1年間における時間外・	休日労働時間が	一定時間を	超える医師の人数	数について						
	1,785時間超	(	)名								
	1,710時間超	•	)名		<del></del>						
	□ 医師の時間外・休日労働時間						-				
	※ 特定地域医療提供医師又に おいて1,710時間を超える時										
	ホームページ等に掲示する						, o				
	05年7月1日時点)										
ア ほ	医療機関に勤務する医師数	常勤:	(	)名	非常勤:	(	)名				
		宿日直(*	1)を担当す		)名(うち非常		)名)				
イ 痘	病院勤務医の勤務状況の把握等( <i>*</i>	 会和3年6月分)	*   佰口	直については、平日	の平均的な「日にお	ける体制を記	こ戦すること)				
. //	(ア) 勤務時間の具体的な把握		□ タイ	ムカード、ICカー	ド、パソコンの使	用時間					
		•		)他、客観的な記録	-	- · ·					
			(具体	的に:			)				
	(イ) 勤務時間以外についての動										
	□ 年次有給休暇取得率	<b>严</b>		□ 時短勤務実施	西者(*3)数						
		○ T= /日 ÷		_ **."							
	□ 育児休業・介護休業	の取得率		□ その他 (具体的に:			)				

	過勤務時間(	(時間/月)(:	*4)					
	平均:	(	)時間/月	1	80時間/月以上の	の者の人数:	(	)名
	最大:	(	)時間/月	1	155時間/月以上	の者の人数:	(	)名
	最小:	(	)時間/月	3				
		、 対数医における値		•				
	*4超	超過勤務時間: 法	法定休日以外の		1日につき8時間を超えて き4日付与する義務あり)			40時間を超えて労働し
(工) 宿	百直(回/月	)	平均:	(	)回/月			
			最大:	(	)回/月			
			最小:	(	)回/月			
				· iを実施し <i>.t</i>	と者の人数及び回数	: (	)名・のべ(	) 🗇
(オ) そ	の他(自由記	!載•補足等)						
		る時間外・休			間を超える医師の人数	対について		
1,785時			(	)名				
1,710時			(	)名				
※ 特定 おい	定地域医療提 Nて1,710時間	供医師又は過	重携型特定地 引外•休日労働	地域医療提 動時間を行	易合、理由及び改善 <i>0</i> 供医師について、令₹ つた医師がいる場合 とされている。	和6年度におい	いて1,785時間.	、令和7年度に
·和4年7月1	1日時点)							
医療機関に	勤務する医館	 師数	常勤:	(	)名	非常勤:	(	)名
			宿日直(**	1)を担当する		)名(うちま	上学勤(	)名)
			III III III		宿日直については、平日			
<b>疟</b> 腔勒	の勤務性温	の把握等(令	和2年6日公		1121000 0180 111	05 1 251176 1 111	-0317 W PT-1012 IIC	#X / UCC/
					タイムカード、ICカート	* 1817		
(人) 重加	/伤时间の共1	体的な把握方	冱				<b>医用时间</b>	
					その他、客観的な記録	球万法		
					具体的に:			)
		こついての勤	務状況(*2)	の把握内				
	□ 年次有給	3休暇取得率			□ 時短勤務実施	百者(*3)数		
	□ 育児休業	美・介護休業の	)取得率		□ その他			
					(具体的に:			)
	*2 育	前年度の実績を	記載。					
	*3所	<b>斤定労働時間を</b> あ	5らかじめ減じた	-勤務体制と	している者			
(ウ) 超	過勤務時間	(時間/月)(:	*4)					
		(	)時間/目	1	80時間/日以上の	の考の人数・	(	) 夕
	平均: 最大:	(	)時間/月		80時間/月以上の			)名 )タ
:	最大:	(	)時間/月	1	80時間/月以上の 155時間/月以上			)名 )名
	最大: 最小:	(	)時間/月	1				
	最大: 最小: *4常	( ( 対勤医における値 3過勤務時間: 注	)時間/月 )時間/月 動を記載。 ま定休日以外の	] ] ] )日において1		の者の人数:	びに1週について	)名
:	最大: 最小: *4常	( ( 営勤医における値 超過勤務時間: 没 別数及び法定休日	)時間/月 )時間/月 動を記載。 ま定休日以外の	] ] ] )日において1	155時間/月以上 1日につき8時間を超えて	の者の人数:	びに1週について	)名
:	最大: 最小: *4常 *4超 た時間	( ( 営勤医における値 超過勤務時間: 没 別数及び法定休日	)時間/月 )時間/月 を記載。 ま定休日以外の 日(週に1日、又	引 り日において1 は、4週につ	155時間/月以上 1日につき8時間を超えて き4日付与する義務あり	の者の人数:	びに1週について	)名
:	最大: 最小: *4常 *4超 た時間	( ( 営勤医における値 超過勤務時間: 没 別数及び法定休日	)時間/月 )時間/月 iを記載。 k定休日以外の g(週に1日、又 平均: 最大:	引 り日において1 は、4週につ (	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり )回/月 )回/月	の者の人数:	びに1週について	)名
:	最大: 最小: *4常 *4超 た時間	( ( 営勤医における値 超過勤務時間: 没 別数及び法定休日	)時間/月 )時間/月 診記載。 法定休日以外の 日(週に1日、又 平均: 最大: 最小:	月 り日において1 は、4週につ ( ( (	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり) 0回/月)回/月)回/月	の者の人数:	( びに1週について た時間の総和	)名
(工)宿	最大: 最小: *4常 *4超 た時間	( ( ( 営動医における値 超過動務時間: 没 別数及び法定休日	)時間/月 )時間/月 診記載。 法定休日以外の 日(週に1日、又 平均: 最大: 最小:	月 り日において1 は、4週につ ( ( (	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり )回/月 )回/月	の者の人数:	びに1週について	)名
(エ)宿 (オ)そ 令和5年度	最大: 最小: *4 常 *4 か た時間 『日直(回/月 の他(自由記	( ( ( ( 留過勤務時間: 対 数及び法定体日 ])	)時間/月 )時間/月 が記載に が記録に いかの又 平最大: 最大: 最大: 事日の 動時間が	引 の日において1 は、4週につ ( ( ( ( ( ( ( ( が一定時間	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり) 0回/月)回/月)回/月	の者の人数: 労働した時間並において労働し	( びに1週について た時間の総和	)名
(エ)宿 (オ)そ 令和5年度 1,785時	最大: *4常 *4超間 ・1時間 ・1年間におけ	( ( ( ( 留過勤務時間: 対 数及び法定体日 ])	)時間/月 )時間/月 )的時間。 総定体日日 均: 平最 最 連 日 分 一 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	月 日 は、4週につ ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( で実施した ) 名	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり )回/月 )回/月 )回/月 )回/月	の者の人数: 労働した時間並において労働し	( びに1週について た時間の総和	)名
(エ)宿 (オ)そ (オ)を 1,785時 1,710時	最大: *4 常 *4 時間 ・1 日直(回/月) の他(自由記) 1 年間超	( ( ( 営動)医における値 関数及び法定体E 目)	)時間/月 )時間/月 )的時間。 を定機のに1 中 均大: 平 最 最連 日 労働時間 一 ( (	の日において1 は、4週につ ( ( ( ( ( ( ( で実施した )名 )名	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり )回/月 )回/月 )回/月 )ロ/月 ご者の人数及び回数	の者の人数: 労働した時間並において労働し : (	びに1週について た時間の総和 )名・のべ(	)名 「40時間を超えて労働し
(エ)宿 (オ)そ (オ)そ 1,785時 1,710時 口医師	最大: *4 常起 *4 常題 下日直(回/月 の他(自由記 11間間超時間が・休	( ( ( 営動)医における値 図動教及び法定体E ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	)時間/月 )時間の )時間の )に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	月 日において1 は、4週につ ( ( ( ( で実施した が一名 )名 ションを超える場	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (ご者の人数及び回数	の者の人数: 労働した時間並において労働し : (	びに1週について た時間の総和 )名・のべ(	)名 「40時間を超えて労働し )回
(エ)宿 (オ)そ (オ)そ 1,785時 1,710時 口医師 ※特別	最大: *4 <sup>4 4 2 4 8 1 6</sup> 7 日直(回/月) の他(自)に の他(自)に 1 1 間間 超 間 時 域 医 かい 様 提	( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	)時間/月 )的時間。 以外の又 平最最連 日労(い の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	155時間/月以上 1日につき8時間を超えてき4日付与する義務あり )回/月 )回/月 )回/月 )ロ/月 ご者の人数及び回数	の者の人数: 労働した時間並において労働し  において労働し  において労働し  かにおいて労働し	びに1週について た時間の総和 )名・のべ( を公開している いて1,785時間.	)名 40時間を超えて労働し )回 ・ 。 、令和7年度に

1 短時間勤務正	規雇用医師の活	用口(	年	月)					
【要件】短時間勤	]務正規雇用医的	Tを常勤医師	i20人につ	つき1人以	上雇用し	ていること	0		
2 オンコール体制	別の構築		年	月)					
【要件】医療機関	全体で、医師60	人(常勤換算	〔)あたり1	人以上才	ンコール	医師がい	ること。		
オンコール	レ医師が所属する	5診療科の医	≦師は、同	じ日に宿	日直をして	ていないこ	اح.		
3 複数主治医制体	の実施		年	月)					
【要件】当該医療标	機関の標榜診療	4(外来診療の	)みの診療	寮科を除く。	)のうち半	数以上で	复数主治医	制を導入して	ていること。
4 特定行為研修約			年	月)					
	に係る以下の各領	域のすべてに	ついて、そ	れぞれ日菫	帯には院	内に常時特	定行為研修	終了者がおり	、特定行為を行って
いること。									
·外科手術後管理领	頁域								
·術中麻酔管理領域	或								
·外科系基本領域									
•集中治療領域									
·救急領域									
5 医師事務作業社	補助者の活用		年	月)					
【要件】〇対1の	割合で医師事務	作業補助者	を配置し	ていること	。 (	対1)			
・動下部語とは ・動下部消とは ・動下部消とは ・自動を ・動下部消とは ・動下部消とは ・自動を ・自動を ・持に ・持に ・持に ・持に ・持に ・持に ・持に ・持に	Tコロノグラフィ検査を ために挿入した鼻腔 が影察した患者につ (バルーン及びトラン (水体査、当該検査を行 は、経鼻又おいての ・ 治療においての ・ 分採血のための ・ 表 が も が も が も も を う う く 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	を含む。)のためらかからかった。)のためらかった。一かからかいて、その医師? スデューサーのの機器のできた。「なった」の立会である。この立会である。この立会にいるできた。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」といる。「なった」という。「なった」」という。「なった」というた。「なった」というなった。「なった」というなった。「なった」というなった。「なった」というなった。「なった」というなった。「なった」というなった。「なった」というなった。「なった。「なった」といった。「なった」というなった。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」」というなった。「なった。」というた。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」」というなった。「なった。」」といた。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」というた。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」というなった。「なった。」というた。「なった。」」というた。「なった。」というた。「なった。」というた。「なった。」というた。「なった。」というた。「なった。」というた。「なった。」」というた。「なった。」」というた。「なった。」」というた。「なった。」といった。」というた。「なった。」」というなった。」というた。「なった。」といった。」といた	、注入別を注入した注注を	き影剤及び名、 入すの指示を ・ の含む。 ・ の含む。 ・ の含む、 ・ のきの、 ・ のをいる、 ・ のきの、 ・ のない、 ・ のます。 ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	会気を過ぎる 当当と の う う う う う う う う う う う う う う う う う う	る行為が終 の投与が終 には診療所と む。)並びに 検体を採に剤 取 接 修 変 造 び が が が が が が が が が が が が が が が り が り が	了した後に鼻に外の場所に出 状去を含む。 する行為血する ひ止血す。 ひ与が終了した	控カテーテル? 3張して行う超 ) 5行為 と後に抜針及?	た抜去する行為 音波検査 び止血する行為
<ul><li>・心・血管カテーテルを操作する行為</li></ul>	治療において、生命	准持管埋装直を	使用して行	つ冶療に関連	里する業務と			与えるために	、当該負何装直
・手術室で行う鏡視下操作する行為 エ 救急救命士 ・医療機関に搬送され、 ※救急外来とは、救怠を提供される場のこと	れるまでの間(病院前 急診療を要する傷病	()に重度傷病者	に対して実	施可能な救力	急救命処置(	こついて、救	急外来※ にお	いても実施可	「能とされた行為